

宇都宮市立陽南中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

次の質問では「思う」「どちらかといえば思う」を合わせた肯定的な回答が9割を超えた。

- いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。(98.1%, 全国より+3.0ポイント)
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。(96.6%, 全国より+2.3ポイント)
- 学校の規則を守っている。(96.2%, 全国より±0ポイント)
- 人が困っているときは、進んで助けている。(90.6%, 全国より+4.7ポイント)

次の質問などでは、肯定的回答が県や全国の数値を5ポイント以上上回り、本校の特徴を示している。

- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。(91.3%, 全国より+9.8ポイント)
- 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をする。(86.0%, 全国より+9.6ポイント)
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う。(81.5%, 全国より+9.9ポイント)
- 自分には、よいところがあると思う。(79.1%, 全国より+5.0ポイント)
- 将来の夢や目標を持っている。(76.1%, 全国より+5.6ポイント)

自己肯定感が高く、級友や教師と良好な関係の生徒が多い。「褒めて伸ばす」指導で、自己肯定感等を高めている。

学習に関しては、

- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。(93.6%, 全国より+5.6ポイント)
- 数学の勉強は大切だと思う。(91.3%, 全国より+7.1ポイント)
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。(88.8%, 全国より+4.0ポイント)
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。(82.6%, 全国より+7.7ポイント)
- 読書は好き。(74.2%, 全国より+6.2ポイント)

教科の有用性を感じている生徒が多い。

一方、その気持ちや努力へ結びついていない、家庭学習(特に復習)に十分取り組めていない生徒もいる。また、英語に対する苦手意識が強い。

- 家で、自分で計画を立てて勉強している。(49.2%, 全国より-1.2ポイント)
- 英語の勉強は好き。(43.1%, 全国より-12.9ポイント)
- これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会(地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にあった。(30.6%, 全国より-3.2ポイント)
- 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う。(33.7%, 全国より-7.6ポイント)
- 学校の授業時間以外の、月～金曜日の1日あたりの勉強時間
2時間以上やっている(29.5%, 全国より-6.0ポイント) 30分より少ない + 全くしない(11.8%, 全国より+1.0ポイント)

これからも家庭学習の啓発を図り、学力向上に努めていく。

宇都宮市立陽南中学校 (第3学年)
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・家庭学習の習慣化	・スタンダードダイアリーを活用して毎日の学習を記録し、月曜日に「家庭学習の記録」に記入することで、1週間の振り返りをさせ、生徒の自覚を促す。	・家で、2時間以上学習している生徒が、全国より少ないながらも、昨年度よりも2.8ポイント増えた。徐々にではあるが成果が上がっている。
・読書活動の充実	・朝の読書活動を継続して行う。	・学校全体が非常に落ち着いた雰囲気で一日が始まっている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・数学の各領域の正答率が、国の平均を下回っている。 ・英語への苦手意識が強い。	・基礎・基本の定着	・基本的な学習内容の定着のために、小テストなどをこまめに行い、理解が不十分な生徒には繰り返し補充指導を行うことで、基礎・基本の定着とわかる喜びを感じさせ、意欲喚起につなげる。 ・ALTをこれまで以上に活用し、生徒が興味をもち、主体的に学べるような授業の工夫をする。